平成28年
新年のごあいさつ

新年明けまして おめでとう ございます。

町長　**岡﨑　和夫**

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

さて、昨年を顧みますと、国におきましては、デフレからの脱却政策の推進により、経済は緩やかに回復傾向になってまいりました。一方、地方経済の衰退は依然深刻な問題であります。本年こそ経済が確実に回復基調になっていくことを望むものであります。

池田町に於きましては、お陰様で『池田町制60周年』を迎えさせていただきました。これまでの町制を振り返り、先人のご苦労や業績に深く感謝申し上げます。

また、『地方創生』元年として動き始めた年でもありました。今後加速度的に進む「人口減少」に歯止めをかけるため、２０６０年に人口２万人の町を目指すとした、「岐阜県池田町人口ビジョン」の策定と、今後5年間の基本的方向性や具体的な施策を盛り込んだ「岐阜県池田町版地方創生総合戦略」を策定させていただきました。

この戦略は、住民によるワークショップ「池女会」と「池田町アイデア工房」を立ち上げ「池田町が元気になるにはどうしたらよいか」の議論を進めるなど、特徴的な取り組みをさせていただき、その中から出された課題をまとめ上げたものです。

『地方創生』の議論を通して、人材の発掘や新たなコミュニティネットワークが生まれたことは、未来の池田町にとって大きな財産になっていくことと確信しております。

これまでは、人口も財政も右肩上がりで町は発展して参りました。しかし今は、人口が減り高齢化が進む中、町民の皆様が安心して暮らしていけるにはどうしたらいいのか、知恵を絞って考えなければならない、大きな転換期を迎えています。

今後は、既成概念にとらわれず発想の転換をし、「池田町は都会でもない。田舎でもない」。そういう環境を活かした町づくりを進めてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい年となりますように祈念いたしまして、新年のあいさつとさせていただきます。

今月の表紙　書き初めをする岡﨑町長（町長室にて）